

株式会社JALスカイ札幌との連携

株式会社JALスカイ札幌が、主に新入社員を対象とした勉強会を開催しました。舞鶴遊水地の見学を行いながら、舞鶴遊水地にタンチョウを呼び戻す会や地域の農業者からタンチョウも住めるまちづくりを含めた長沼町の魅力や課題について話を聞き、最終的にはJALとしてできる地域貢献策を議論しました。

【開催概要】

行事名 地域活性化事業室勉強会「地域を知る」
開催者 株式会社JALスカイ札幌 地域活性化事業室
場所 舞鶴遊水地・舞鶴会館
日程 令和6年11月18日(月) 10:45~16:30
参加者 計14名
※オブザーバーとしてイオン北海道株式会社が参加

【プログラム内容】

10:45~11:50 舞鶴遊水地を車で周遊しながら見学・解説
11:50~13:20 昼休憩
13:20~15:15 長沼町の概要やタンチョウの取組について、役場や呼び戻す会より解説
15:15~16:30 グループディスカッション

【グループディスカッションで出た意見】

- タンチョウの普及啓発として、子供向けのイラストやQRコードを機内で使用する紙コップや空港内に描く
- カウンターで荷物を預かった際に客に渡す「感謝カード」の裏面にスノーアートの写真を使用するなどして取組をPRする
- 社員が長沼町を旅してVlogを撮影し、SNSで発信
- タンチョウの取組に関して、マイレージを活用した募金を募る
- 斎藤佑樹などの著名人に長沼町を紹介してもらう
- 採れたて野菜を使用した目玉商品を作る
- 空港見学に長沼町のツアーを入れ込む



舞鶴遊水地見学



呼び戻す会からのお話



農業者からお話



グループディスカッション